

第1編 序論

みんなで作る加東きらめき★プラン



- 第1章 計画策定の背景と目的 2
- 第2章 計画の定義と構成 4
- 特別章 市民の提言による協働の計画づくり 5

第1章 計画策定の背景と目的

※新都市建設計画

新市を建設していくための基本方針、それを実現するための主要事業、公共施設の統合整備の基本的な考え方や財政計画を中心とした計画。

※マスタープラン

全体の基本となる計画または設計。

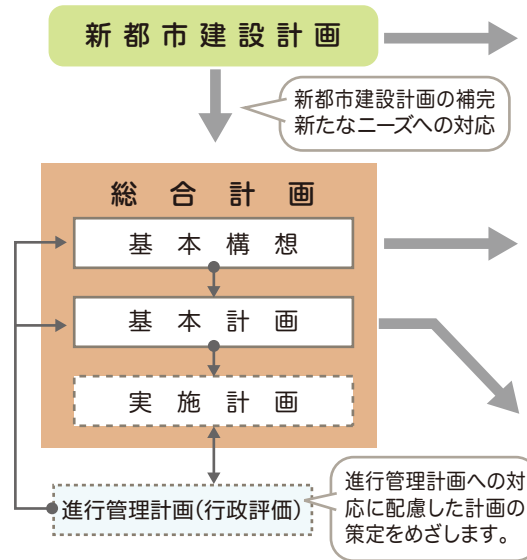
地方分権の進展や少子高齢化、国・地方を取り巻く厳しい財政環境などを背景に、平成18年3月20日、加東市は「自立したまちづくりの推進」「広域的なまちづくりの推進」「行財政能力の向上」をめざして歩み始めました。

新都市建設計画[※]は、合併協議会(法定)において、旧3町の課題などを踏まえながら、合併後の新市が一体的なまちづくりを速やかに確立するために策定されました。一方、総合計画は、地方自治法第2条第4項に基づき、議会の議決を経て基本構想を定め、これに即して事務の処理を行うために策定するものであり、合併後のまちづくりの基本方向を示した新都市建設計画を補完するとともに、合併後の新たな市民ニーズに対応する計画として重要な位置づけにあります。

特に、「右肩上がり」から「右肩下がり」、「中央集権」から「地方分権」、「平均化」から「個性化・多様化」、「行政主体の統治」から「多様な主体による協働」など、新都市建設計画策定時から今日に至る間にも大きく変化しつつある社会潮流を受け止め、より時代に適合し、より市民ニーズを反映した地域のマスタープラン[※]とすることが求められています。このため、「地域資源の有効活用と地域経営」「市民参画による計画策定」「成果志向型で市民にわかりやすい計画」「“あれもこれも”から“あれとこれ”のまちづくり」を念頭に置いた戦略的計画として、加東市総合計画を策定します。



■新都市建設計画から総合計画などへの展開



合併前に法定の合併協議会において、旧3町の課題などを踏まえながら、合併後の新市が一体的なまちづくりを速やかに確立するために策定されました。

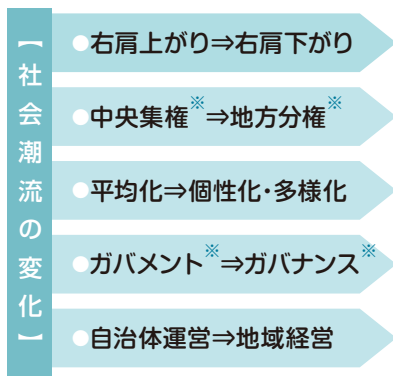
地方自治法第2条第4項に基づき、議会の議決を経て基本構想を定め、これに即して事務の処理を行うために策定します。

新市の理念や将来像を実現するためのプロセスを明確にします。

■これからの総合計画に求められるもの

総合計画の基本的役割

- 1) 市の総合的かつ計画的な行政運営の指針
- 2) 市民などの活動に際しての指針
- 3) 県などが地域計画を策定し事業を行うにあたっての尊重すべき指針



これからの総合計画に求められるものは？

- ア 地域資源の有効活用と地域経営
地域の資源を企業的経営センスをもってマネジメントする計画とします
- イ 市民参画による計画策定
協働と役割分担のまちづくりに向けた市民参画による計画策定とします
- ウ 成果志向型で市民にわかりやすい計画
施策体系を行政内部執行(分野)型から、市民生活重視(テーマ)型へ組み替えます
- エ “あれもこれも”から“あれとこれ”のまちづくり
限りある資源から最大限の効果を生み出す計画とします

※中央集権
行政や政治において、権限と財源が中央政府(国家政府)に一元化されている形態。

※地方分権
国のもっている権限・財源を市町村に移し、住民と自治体の選択と責任により、地方自治体が主体的に物事を決めていき、地域の特色を生かした活力ある地域社会づくりを進めること。

※ガバメント
政府や地方自治体による統治。

※ガバナンス
政府、地方自治体、市民が対等な関係に立ち、協働すること。

第2章 計画の定義と構成

1 計画の名称

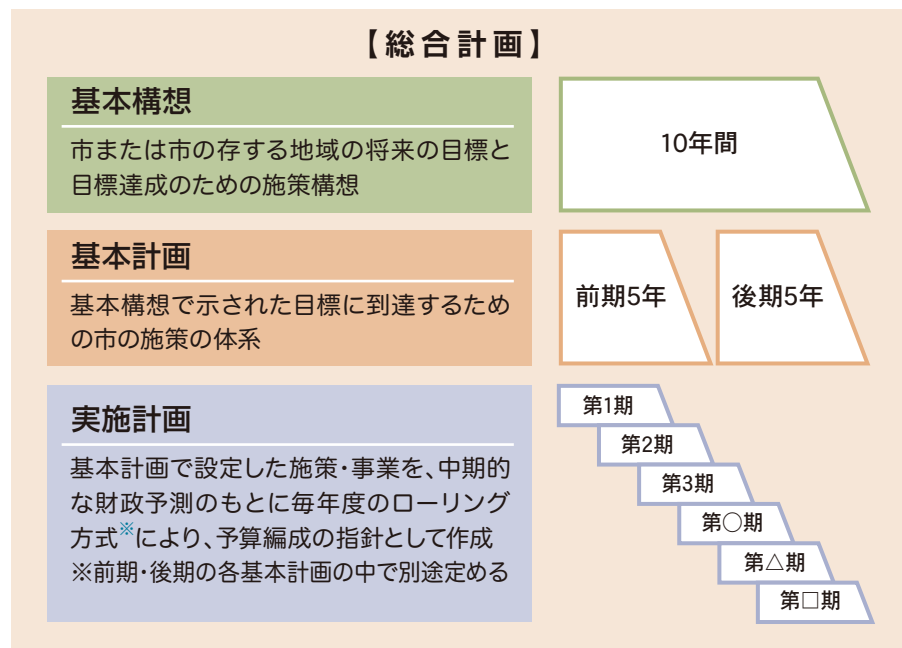
「加東市総合計画(愛称:みんなで作る加東 きらめき☆プラン)」とします。

2 計画の定義

市民の総意を代表する自治体として、市民の総力を結集し、その地域社会の当面している広範な地域課題に対処するための計画です。

3 計画の構成

総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3階層とし、基本構想と基本計画を総合計画(冊子)として取りまとめました。また、これを受けて、別に毎年度実施計画を作成します。



※ローリング方式

毎年度修正や補完などを行うことで、変化する経済・社会情勢に弾力的に対応し、計画と現実が大きくずれられることを防ぐこと。

(1) 基本構想

平成20年度から平成29年度までの10年間とします。

(2) 基本計画

基本構想の期間のうち、平成24年度までの5年間を前期とし、それ以降を後期とします。

(3) 実施計画

計画期間を定め、毎年度のローリング方式により作成します。

特別章 市民の提言による協働の計画づくり

1 「みんなでつくる加東 きらめき☆プラン」策定のあゆみ

総合計画の策定にあたって、市民参画の方法として、生活に結びつく将来像やまちづくりの目標を市民主導で導き出し、それを実現するための具体的な方策を考えました。

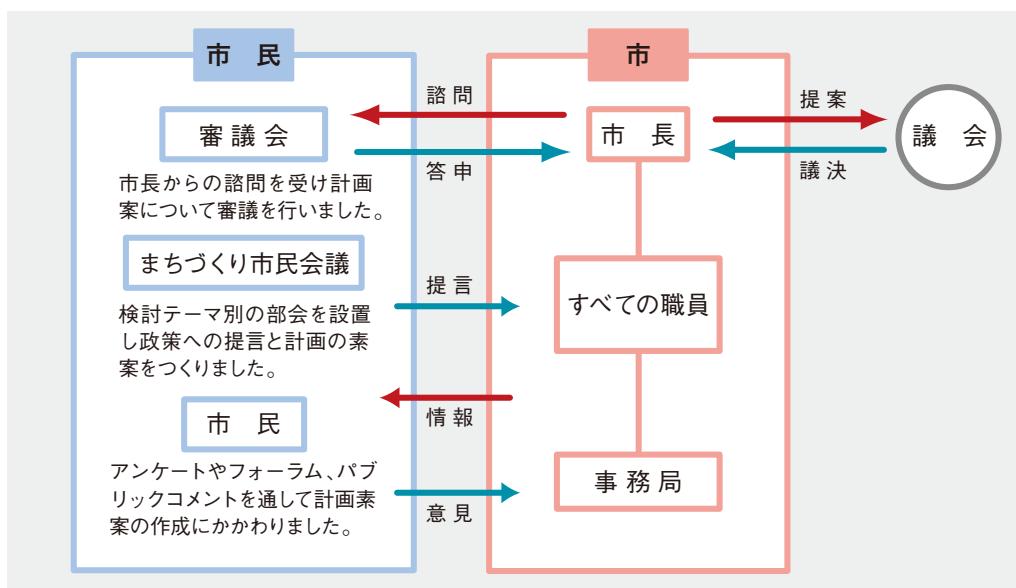
市民の視点に立った計画とするため、「まちづくり市民会議」が設置され、市民フォーラムや市職員によるワーキングチームとの合同会議を含め17回にわたり開催されました。

市民会議のメンバーは、各種団体組織の長にとらわれない老若男女から構成され、市民の生活に関連するテーマについて、SWOT分析(7頁参照)を活用しながら自由闊達な意見が交わされ、将来像の実現に向けたまちづくりの柱となる「まちづくりの目標(政策素案)」が導き出されました。

市民会議で導き出された素案は、審議会において何度も推敲が重ねられ、今回の計画が作り上げられました。



■策定体制



2 まちづくり市民会議の取り組み経緯

1 **第1回市民会議**
2006/11/7
計画の策定方針と市民会議の役割について確認をしました。

2 **第2回市民会議**
2006/11/30
会議の進め方や役割分担について検討し、確認をしました。

3 **第3回市民会議**
2006/12/21
中学生アンケートの結果を参考に、政策タイトルを検討しました。

4 **第4回市民会議**
2007/1/18
政策タイトルをさらに検討し、案を作成しました。

5 **第5回市民会議**
2007/2/8
SWOT分析(右頁)について、その目的や手順の研修を受け、手始めに加東市の強み・弱みを抽出しました。

6 **第6回市民会議**
2007/2/22
SWOT分析を進め、政策素案作成のための素材づくりに取り組みました。

7 **第7回市民会議**
2007/3/13
引き続きSWOT分析を進め、政策素案作成のための素材づくりに取り組みました。

8 **第8回市民会議**
2007/4/12
引き続きSWOT分析を進め、政策素案作成のための素材づくりに取り組みました。

9 **第9回市民会議**
2007/4/26
引き続きSWOT分析を進め、政策素案作成のための素材づくりに取り組みました。

10 **第10回市民会議**
2007/5/10
SWOT分析をもとに、政策素案の起草に挑戦しました。

11 **第11回市民会議**
2007/5/24
それぞれが作成した政策素案を部会ごとに検討し、さらにみがきをかけました。

12 **第12回市民会議**
2007/6/14
フォーラム開催に向け、委員の提言について意見を交換しました。

13 **第13回市民会議**
2007/7/5
フォーラム開催に向け、サブテーマを検討しました。

14 **第14回市民会議**
2007/7/19
フォーラム運営の最終準備を行いました。

**元気を語る
まちづくり
フォーラム** 2007/7/28
市民が一堂に会し、それぞれのアイデアを共有しました。

15 **第15回市民会議**
2007/8/21
市民会議で検討した基本構想と庁内ワーキングで検討した基本計画の整合を図るため、合同で意見を交換しました。

16 **第16回市民会議**
2007/9/13
市民会議の総まとめとして、市民会議提言書を検討し、サブテーマの最終案を絞り込みました。



3 SWOT分析とは？

SWOT分析は、企業が今後の取り組みを考えたりするときによく用いる手法で、このたびの計画づくりのコンセプトである地域資源の有効活用による「あれもこれも」から「あれとこれ」のまちづくりを導くための手法として活用しました。

横文字でとっつきにくい感じがしますが、意外に簡単に、かついろいろな分野で活用が可能です。「SWOT」とは、強み(Strength)、弱み(Weakness)、機会(Opportunity)、脅威(Threat)の頭文字を並べたもので、それら4つの切り口を、自らのこと(加東市の概況:強み、弱み)、自らを取り巻く環境(社会的潮流:機会、脅威)の2軸で整理し分析します。

まちづくり市民会議では、市民生活にかかわるテーマごとに、政策素案の文章化につながるまちづくりのアイデアを市民の視点で出し合い、素案作成のための検討を行いました。

■SWOT分析による効果的な取り組みの生み出し

S: 強み (Strength) W: 弱み (Weakness) O: 機会 (Opportunity) T: 脅威 (Threat)	加東市の概況 (内部環境)	
	加東市の強み(S) 加東市の良いところ・魅力あるところ 優れているところなど	加東市の弱み(W) 加東市の悪いところ 劣っているところなど
社会的潮流 (外部環境)	機会: 求められること(O) 世の中の動きとして 求められていること や市民が求めている こと	強みを活かして攻めること 加東市の強みで、社会的 にも求められていること は積極的に取り組む 計画素案に積極的に反映
	脅威: してはならないこと(T) 世の中の動きとして 求められていないこと や市民が求めてい ないこと	回避すること 加東市の強みではあるが、 社会的潮流からみて、して はならないことは、強みで社 会的脅威をカバーしていく
		弱みを改善すること 加東市の弱みではあるが、 社会的に求められている ことは改善して取り組む
		今やっっていないで今後もしないこと 加東市の弱みでもあり、社会 的潮流からみても、してはな らないことは撤退していく

※今回の計画では、上表の「強みを活かして攻めること」、「弱みを改善すること」を素材の柱として、積極的に計画素案に反映していくこととしました。

4 市民生活にかかわるテーマごとの主なまちづくりアイデア

文化 地域文化・学校教育・生涯学習・青少年育成

- 恵まれた自然や歴史など地域の資源を積極的に活用しながら、心豊かでうるおいにみちた市民文化の実現をめざしていきましょう。
- 行政は、市民の学習に対するさまざまな要望に的確に応えましょう。

- ・「地域の魅力発掘隊」
- ・いじめゼロ、不登校ゼロ
- ・子どもも一緒に参加する地域のサロン
- ・CATV[※]を活用した市民交流の促進
- ・テーマ別共同イベントの開催
- ・市民による施設の自主管理

※CATV

Cable Televisionの略。アンテナを用いずに、映像をケーブルで伝送する有線のテレビ。

安全 自然・環境・交通安全・消防防災・防犯

- 豊かで恵まれた自然環境と共生し、地域の人々のつながりを活かした、交通安全や防犯対策の推進、まちの防災力の強化などに取り組み、安全なまちをめざしましょう。

- ・自主防災の強化
- ・救急物資の集積場所の確保、防災拠点づくり
- ・テーマ型コミュニティ活動(防災・防犯)の場づくり
- ・防犯パトロール、声かけ運動、子ども見守り活動の推進

安心 子育て・保健・医療・福祉

○市民一人ひとりの健康づくりをはじめ、医療の充実、地域のつながりを大切にしたい子育てや高齢者、障害者、要援護者への地域保健や福祉を進め、健やかで心がふれあうやさしいまちをめざしましょう。

- ・社総合病院の経営改善のための施策
- ・空き教室を活用した高齢者と子ども、若者の世代間交流による地域活動
- ・健康づくりのための事業(ウォーキング、食の健康講座、まちぐるみ健診など)の実践

活力 農業・地域産業・観光・雇用

○農業・商業・観光産業の有機的な連携の中で、市全体が一体となった地域産業の振興や基盤整備を推進し、地域の活性化を図っていきましょう。
○魅力ある企業の誘致や起業への取り組みを進めることで雇用の創出を図り、誰もが生きがいをもって働くことができる社会づくりを推進しましょう。

- ・南山インターパークへの企業誘致
- ・ファミリーコース、グルメコースなど多様な来訪者に対応した観光プランづくり
- ・空き店舗や既存施設を活用した起業支援
- ・加東のオンリーワンの再発掘

快適 都市基盤・情報通信・道路交通・ライフライン

- 上下水道や道路環境、公共交通ネットワークなど暮らしの基盤についての整備や充実を図り、景観や住環境などに配慮した、市民の暮らしと憩いが響きあうような心地よいまちをめざしましょう。
- 市民一人ひとりがまちづくりに対する意識をもって、さまざまな取り組みに主体的にかかわり、行政はこれらの取り組みに対する支援に努めていきましょう。

- ・市民によるCATV番組制作
- ・加東型住宅モデルプランづくり
- ・南山インターパークへの定住促進
- ・まちなかルミナリエ
- ・地区ごとの景観づくり(花回廊)
- ・市民の自主的モラルアップ運動

協働 人権・コミュニティ・住民自治・ボランティア

- すべての人が平等に参画できる環境を整え、防災や福祉をはじめとするきめ細かなまちづくりに対応できるコミュニティを育成しましょう。
- 市民一人ひとりが自ら未来を切り拓くという気概を醸成することにより、市民の多様なきずな(事業者・行政も市民の一人として)で、みんなが愛着のもてるまちづくりを進めましょう。

- ・誰もが参加する気風の醸成
- ・住民自治組織による課題発見・解決型コミュニティの創成
- ・情報共有の推進(CATV・インターネット)
- ・旧3町の壁を取り除く取り組み
- ・市民による自分の地域の評価制度
- ・地域のリーダー養成
- ・市民が行う“加東祭り”

※「主なまちづくりアイデア」は、まちづくり市民会議提言書から抜粋したものです。